

富岡製糸場世界遺産登録記念・原三溪市民研究会5周年記念 シンポジウム

富岡製糸場と横浜の原三溪 —36年間の経営と継承—

日時：2014年10月11日（土）14:00～16:30

会場：横浜美術館 レクチャーホール

主催：原三溪市民研究会 横浜美術館 三溪園

助成：公益信託 ヨコハマ中区まちづくり本牧基金

内容：講演1「世界遺産と原時代の富岡製糸場」

富岡製糸場総合研究センター学芸員 岡野雅枝

講演2「原合名会社の近代経営学」

東京外国語大学名誉教授・原三溪市民研究会顧問 内海孝

パネルディスカッション

パネリスト：川幡留司（三溪園参事）、岡野雅枝、内海孝

コーディネーター：佐滝剛弘（原三溪市民研究会会員）

原富太郎（三溪）の原合名会社は、1902（明治35）年から1938（昭和13）年までの36年間にわたり、富岡製糸場を経営していました。このシンポジウムでは、岡野雅枝様から富岡製糸場の世界遺産としての顕著な普遍的価値や、原時代の富岡製糸場の様子についてお話いただいたあと、内海孝先生から原合名会社の設立の経緯やその近代的な経営のあり方について解き明かしていただきました。続くパネルディスカッションでは、原富太郎と富岡製糸場、そして居留地のあった横浜と外国人技術者が働いていた群馬との関わりなどについて発言がありました。



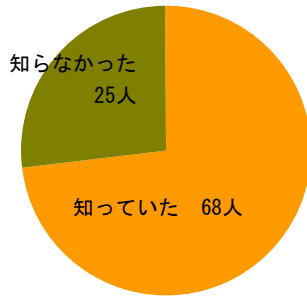
パネルディスカッションの様子

参加者数：230人（一般130人、招待者15人、会員35人）

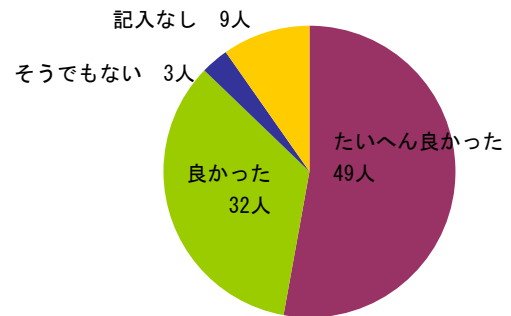
アンケート集計結果：

回収総数 93通

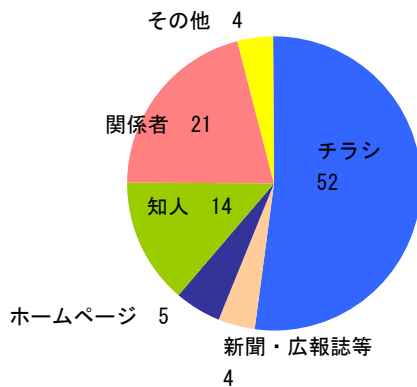
①原三溪が富岡製糸場を経営していたことを



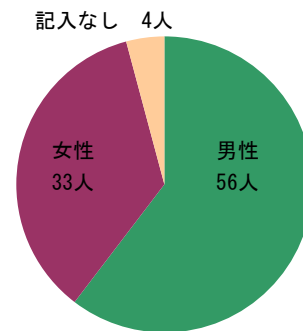
②シンポジウムを聞いて



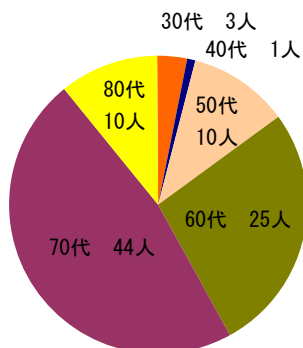
③このシンポジウムをどこで知りましたか
(複数回答あり)



④来場者の性別



⑤来場者の年代



⑥来場者の住まい

